



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

世界経済のコンディションはリーマンショック前以来の良好な循環で安定して、今年はグローバルに成長率を上振れさせることになりそうです。

特に力強い安定感を確立しているのが米国です。雇用は歴史的水準の完全雇用状態と言え、低金利下で企業の調達コストも劇的に下がって利益成長も加速しています。低金利が維持される中での景気拡大基調は株式市場にとって「適温相場」と称されて、米国株式は史上最高値を更新した以降も安定しています。

経済成長を牽引するのはハイテク事業のイノベーションで、FANGと言われるフェイスブック・アマゾン・ネットフリックス・グーグルに代表される巨大IT企業が産業構造全体を変革に導く期待感が株価に反映されていると言えます。

欧州でも実体経済は完全に底打ちして拡大傾向が加速して来ました。日本も気が付けばアベノミクス以降の景気拡大局面が息長く継続しており、金融緩和政策が一定の成果を顕在化させていると言えます。

一方で力強い経済拡大は、各国の金融政策に緩和からの転換を促すわけですが、世界的な低インフレ現象がそれを阻んでいて、米国では年末の利上げは見込まれるものの、以降のその動きは穏やかで慎重なスタンスが続けられそうで、株式市場の適温環境はまだ継続しそうです。

楽観が支配する市場にはやがて必ず反動が訪れるでしょうが、「セゾン号」はそうした時に底力を発揮できる長距離列車です。一切慎重さを失うことなく冷静に運行を続けており、乗客の皆さまにも楽観にはしゃがず、悲観に引きずられぬ本格的長期投資の旅を、どっしりと続けていただきたいと思います。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

11月の市場動向

株式：【先進国で金融緩和の長期化観測が広がるなかで、景気の先行きに対する明るい見方が維持され、堅調な展開】
多くの国や地域で企業の良好な景況感が確認されたほか、先進国では物価の伸びが低い水準に留まり、金融緩和環境が長期間継続するとの見方が強まるなかで、米国の税制改革への期待が根強いこともあり、先行きへの明るい見方が維持され、堅調な展開となりました。

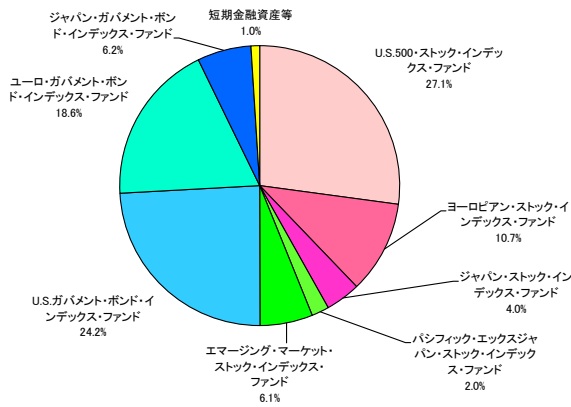
債券：【米国や欧州で金融緩和が縮小に向かっているものの、物価の伸びの低迷を背景に低金利の長期化観測が広がり底堅い展開】
米国では緩やかな政策金利の引き上げが続くと共に量的緩和策が縮小に向かい、ユーロ圏では量的緩和策の早期終了への警戒が高まっているものの、物価の伸びが低迷していることを受けて、低金利が長期間維持されるとの見方が広がり、底堅い展開となりました。

為替：【利上げ観測が後退したドルが下落し、ユーロが上昇。円は堅調な展開となり対ドルで円高、対ユーロで円安】
来年以降の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が広がり、ドルが下落する一方で、ユーロは量的緩和の縮小が早まることへの警戒が強まり上昇しました。円は米国や欧州でも低金利が長期間維持されるとの見方が広がったことを背景に、堅調な展開となりました。

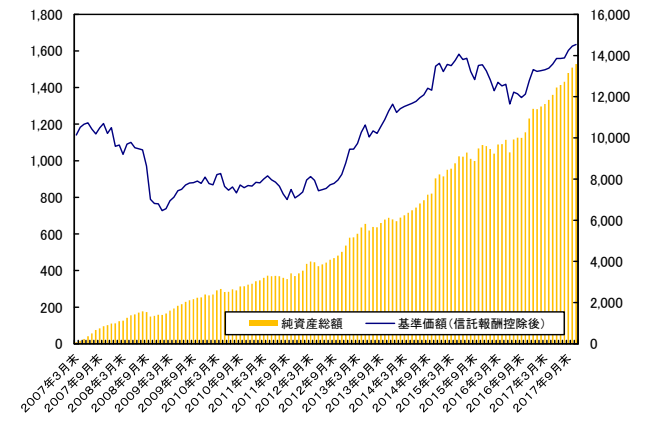
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年11月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,533円	1528.5億円	+45.33%	+0.50%	+6.94%	+13.70%

資産配分状況(2017年11月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



11月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って債券ファンド及び株式ファンドへの投資を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、米国、日本を除く太平洋地域、および新興国の株式に投資するファンドが上昇したほか、債券に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドルで円高、対ユーロで円安となり、小幅ながら基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 11月度の投資先ファンド価格の変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

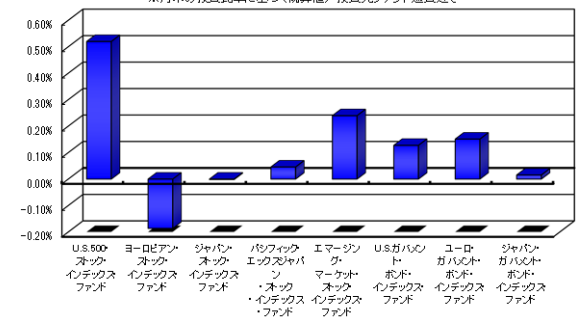


図2 11月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.68%±0.03%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：

- ・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。
- ・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）